

USAID・NSF共同によるPEERプログラム、第1回目の助成内容を発表（5月3日）

米国国際開発庁（U.S. Agency for International Development：USAID）とNSFが共同で途上国における科学及び技術能力の向上の支援を目的として2011年夏に立ち上げたプログラム「研究への関与向上のためのパートナーシップ（Partnerships for Enhanced Engagement in Research：PEER）」に関し、第1回目となる公募採択結果が発表された。

専門家から成る採択委員会が、①科学的メリット、②途上国の開発に与える影響、③途上国の科学者と米国の共同研究者との連携の強さ、の3点を基準に、63ヶ国から提出された約500件の申請書の審査を行った結果、アラビア語をモロッコで利用されている手話へと変換する翻訳ソフトウェアの開発、インドネシアとフィリピンにおける海洋生物多様性研究、レバノンにおける山崩れの危険性評価、コロンビアとエクアドルにおける気候変動がもたらす影響の分析など、25か国から41件のプロジェクトが採択された。

National Science Foundation, USAID-NSF PEER Program Announces First Round of Awardees  
[http://www.nsf.gov/news/news\\_summ.jsp?cntn\\_id=124068&org=NSF&from=news](http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=124068&org=NSF&from=news)